

たけとよ 代表質問	議会事務局 処理欄	令和7年5月15日 9時03分 受付 質問順位 第4番
武豊町議会議員 石川 よしはる 殿 武豊町議会議員 福本 貴久 一般質問の通告について 令和7年第2回武豊町議会定例会において、次のように質問したいから通告します。		
質問事項	質問の要旨(具体的にご記入願います)	
町民税5%減税の実現性と町財政への影響について	【趣旨説明】 鳥羽悠史町長は、「住民税5%減税」も公約に掲げ、2025年4月の武豊町長選挙で初当選された。 住民税5%減税は、財源やサービス維持、持続可能性への懸念も強い施策で、財政状況や将来計画を踏まえた丁寧な説明などが不可欠である。 個人町民税5%減税についての懸念は、財源が減少することにより、公共サービスやインフラ整備、福祉などの予算が圧迫される可能性があり、減税により、将来的な税収の持続可能性が損なわれるおそれがある。 そして、サービス維持が困難になる可能性もあり、減税による歳入減少が、保育・教育・高齢者福祉・防災などのサービスに影響を与えるおそれがあり、武豊町のような小規模自治体では、わずかな減税でも財政バランスが大きく崩れる危険もある。 さらには、個人町民税の減税は、減税額ベースで見ると高所得者ほど恩恵を受けやすく、低所得者層には効果が薄いという課題や武豊町の税制度の信頼性が損なわれるおそれもあり、税の公平性や住民間の格差是正の視点からも慎重な検討が必要である。 また、過去に他の自治体でも住民税減税が実施されていたが、財源不足により短期間で終了した事例もあり、慎重な議論が求められる。 そこで、鳥羽町長が選挙公約として掲げた「町民税（個人住民税）5%減税」について、その財源・影響・持続・実現可能性などの観点から、町長の所見を伺う。 【質問事項】 ①個人町民税5%減税の目的と減税方法はどのようなものか、町民にわかりやすく説明して頂きたい。 ②どのようなスケジュールで実施を想定しているのか。 ③減税の対象は何人か。また、減税額の見込みは。 ④減税を導入する際に係る経費は。 ⑤5%の減税により、年間最大約1億3千万円の歳入減が見込まれるが、この財源をどのように確保するのか伺う。 ⑥5%減税が実施された場合、行政サービスや公共事業に対する予算削減の可能性はあるか、またそれにより町民生活に、どのような影響が出ると見込んでいるのか伺う。 ⑦「税金が安い町」というイメージの構築は魅力的である一方で、持続可能な町政運営や町民サービスとのバランスが非常に重要であると考えているが、町長として、長期的に町民の幸福と発展に資する政策となるために、どのような覚悟と具体策をもって臨まれるのか伺う。	